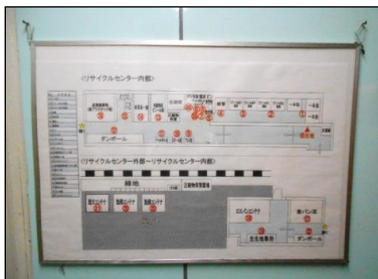


山崎製パン(株)横浜第一工場の環境取組み

(戸塚区:4回目)

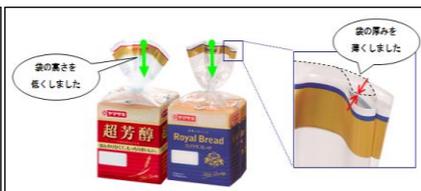
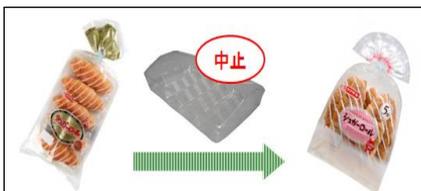
①分別排出の徹底

分別容器・保管場所へ品目ごとにリンクさせた番号を振った写真付きの表示を掲示し、廃棄物の分別をしやすくしています。また、保管場所には全体配置図を設置してどこに何の廃棄物が保管されているか一目で分かるようにしています。



②発生抑制の推進

製品のトレーを中止して袋を小型化したり、製品の袋を薄くして高さを低くする事で資源の節約と廃棄物の発生抑制をしています。



③従業員への環境教育

月1回の環境推進に関する会議内で廃棄物の分別方法等の周知や現場内のパトロールを行ったり、全課事務所・食堂掲示用に環境推進に関する新聞を配付し、環境意識を啓蒙しています。また、新入社員研修の一環で横浜市資源循環局様をお招きし、環境教育を行っています。



④再資源化の推進

動植物性残渣は肥料化、製品として使えないパンや耳は飼料化しています。また、食品リサイクルループを推進し、飼料加工業者や豚の精肉業者と連携して、工場から排出される製品として使えないパンや耳由来のエサを食べて育った豚の肉を使ったメニューを従業員食堂で提供し、資源の有効活用を行っています。

